

7 特別支援学校卒業者の進路状況

(1) 都立特別支援学校（視覚障害）

ア 小学部の状況

卒業者の進路状況は、表 19 のとおりである。

表 19 都立特別支援学校小学部（視覚障害）：状況別卒業者数 (単位：人)

卒業年度	卒業者	都 内 中 学 校 等 進 学 者							都 外 中 学 校 等 進 学 者	そ の 他
		計	公 立	(再掲) 区 市 町 村 立	(再掲) 都 立	(再掲) 特別支援 学校中学部	国 立	私 立		
令和2	14	14	10	-	-	10	4	-	-	-
3	14	13	12	-	-	12	1	-	-	1
4	19	19	19	1	-	18	-	-	-	-
5	12	12	12	-	-	12	-	-	-	-
6	15	15	15	-	-	15	-	-	-	-
7	9	9	8	-	-	8	1	-	-	-

(Ⅲ統計表：第 30 表参照)

イ 中学部の状況

卒業者の進路状況は、表 20 のとおりである。

表 20 都立特別支援学校中学部（視覚障害）：状況別卒業者数 (単位：人、%)

卒業年度	卒業者	進 学 者	専修学校 等入学者	社会福祉 施設入所、 通所者	就職者等	在家庭者	そ の 他	(再掲)進学者 のうち就職 している者
令和2	19	19	-	-	-	-	-	-
	(100.0)	(100.0)	-	-	-	-	-	-
3	10	10	-	-	-	-	-	-
	(100.0)	(100.0)	-	-	-	-	-	-
4	12	12	-	-	-	-	-	-
	(100.0)	(100.0)	-	-	-	-	-	-
5	15	15	-	-	-	-	-	-
	(100.0)	(100.0)	-	-	-	-	-	-
6	11	11	-	-	-	-	-	-
	(100.0)	(100.0)	-	-	-	-	-	-
7	19	19	-	-	-	-	-	-
	(100.0)	(100.0)	-	-	-	-	-	-

(Ⅲ統計表：第 31 表参照)

ウ 高等部の状況

卒業者の進路状況は、表 21 のとおりである。

卒業者 23 人のうち、進学者は 5 人（卒業者の 21.7%）で、内訳は「大学」が 2 人、「特別支援学校専攻科」が 3 人となっている。

就職者等は 6 人（卒業者の 26.1%）で、雇用形態別に見ると、「自営業主等」が 1 人、「無期雇用労働者」が 2 人、「有期雇用労働者 a」が 2 人、「有期雇用労働者 b」が 1 人となっている。職業別に見ると、「あんま・はり師・指圧・きゅう師・マッサージ」が 2 人、「事務」が 2 人、「サービス職業」が 2 人となっている。

注) 「有期雇用労働者 a」とは、雇用契約期間の定めが 1 年以上かつ週の労働時間が 30 時間以上の者を指す。「有期雇用労働者 b」とは、雇用契約期間の定めが 1 年以上かつ週の労働時間が 30 時間未満の者又は雇用契約期間の定めが 1 か月以上 1 年未満の者を指す。

表 21 都立特別支援学校高等部（視覚障害）：状況別卒業生数

(単位：人、%)

卒業年度	卒業生	進学者	専修学校 等入学者	社会福祉 施設入所、 通所者	就職者等	在家庭者	その他	(再掲)進学者 のうち就職 している者
令和2	27 (100.0)	6 (22.2)	1 (3.7)	10 (37.0)	3 (11.1)	7 (25.9)	-	-
3	30 (100.0)	12 (40.0)	-	12 (40.0)	3 (10.0)	3 (10.0)	-	-
4	33 (100.0)	7 (21.2)	-	13 (39.4)	8 (24.2)	5 (15.2)	-	-
5	29 (100.0)	5 (17.2)	-	9 (31.0)	10 (34.5)	5 (17.2)	-	-
6	21 (100.0)	4 (19.0)	-	8 (38.1)	6 (28.6)	3 (14.3)	-	-
7	23 (100.0)	5 (21.7)	-	8 (34.8)	6 (26.1)	4 (17.4)	-	-

注) 「進学者」には「進学者のうち就職している者」を含む。

(Ⅲ統計表：第 37・38・40・41 表参照)

(2) 都立特別支援学校（聴覚障害）

ア 小学部の状況

卒業生の進路状況は、表 22 のとおりである。

表 22 都立特別支援学校小学部（聴覚障害）：状況別卒業生数

(単位：人)

卒業年度	卒業生	都 内 中 学 校 等 進 学 者							都 外 中 学 校 等 進 学 者	その他
		計	公 立	(再掲) 区 市 町 村 立	(再掲) 都 立	(再掲) 特別支援 学校中学部	国 立	私 立		
令和2	38	38	36	-	-	36	2	-	-	-
3	38	37	35	-	-	35	-	2	1	-
4	38	37	37	1	-	36	-	-	1	-
5	35	35	34	1	-	33	-	1	-	-
6	38	38	38	1	-	37	-	-	-	-
7	53	50	49	-	-	49	-	1	3	-

(Ⅲ統計表：第 30 表参照)

イ 中学部の状況

卒業生の進路状況は、表 23 のとおりである。

表 23 都立特別支援学校中学部（聴覚障害）：状況別卒業生数

(単位：人、%)

卒業年度	卒業生	進学者	専修学校 等入学者	社会福祉 施設入所、 通所者	就職者等	在家庭者	その他	(再掲)進学者 のうち就職 している者
令和2	47 (100.0)	47 (100.0)	-	-	-	-	-	-
3	41 (100.0)	41 (100.0)	-	-	-	-	-	-
4	43 (100.0)	42 (97.7)	-	-	1 (2.3)	-	-	-
5	38 (100.0)	38 (100.0)	-	-	-	-	-	-
6	39 (100.0)	39 (100.0)	-	-	-	-	-	-
7	44 (100.0)	44 (100.0)	-	-	-	-	-	-

注) 「進学者」には「進学者のうち就職している者」を含む。

(Ⅲ統計表：第 31 表参照)

ウ 高等部の状況

卒業者の進路状況は、表 24 のとおりである。

卒業者 61 人のうち、進学者は 33 人（卒業者の 54.1%）で、内訳は「大学」が 27 人、「短期大学」が 1 人、「大学・短大通信教育部」が 1 人、「特別支援学校専攻科」が 4 人となっている。

就職者等は 18 人（卒業者の 29.5%）で、雇用形態別に見ると、「無期雇用労働者」が 13 人、「有期雇用労働者 b」が 5 人となっている。職業別に見ると、「事務」が 8 人、「技能工等」が 4 人、「サービス職業」が 6 人となっている。

注）「有期雇用労働者 b」とは、雇用契約期間の定めが 1 年以上かつ週の労働時間が 30 時間未満の者又は雇用契約期間の定めが 1 か月以上 1 年未満の者を指す。

表 24 都立特別支援学校高等部（聴覚障害）：状況別卒業生数

（単位：人、%）

卒業年度	卒業生	進学者	専修学校 等入学者	社会福祉 施設入所、 通所者	就職者等	在家庭者	その他	(再掲)進学者 のうち就職 している者
令和2	57 (100.0)	38 (66.7)	2 (3.5)	3 (5.3)	14 (24.6)	—	—	—
3	64 (100.0)	39 (60.9)	3 (4.7)	5 (7.8)	17 (26.6)	—	—	—
4	63 (100.0)	29 (46.0)	5 (7.9)	7 (11.1)	19 (30.2)	3 (4.8)	—	—
5	71 (100.0)	36 (50.7)	—	7 (9.9)	25 (35.2)	3 (4.2)	—	—
6	57 (100.0)	29 (50.9)	2 (3.5)	5 (8.8)	17 (29.8)	4 (7.0)	—	—
7	61 (100.0)	33 (54.1)	4 (6.6)	3 (4.9)	18 (29.5)	3 (4.9)	—	—

注）「進学者」には「進学者のうち就職している者」を含む。

（Ⅲ統計表：第 37・38・40・41 表参照）

（3）都立特別支援学校（肢体不自由）

ア 小学部の状況

卒業者の進路状況は、表 25 のとおりである。

表 25 都立特別支援学校小学部（肢体不自由）：状況別卒業生数

（単位：人）

卒業年度	卒業生	都 内 中 学 校 等 進 学 者							都 外 中 学 校 等 進 学 者	その他
		計	公 立	(再掲) 区 市 町 村 立	(再掲) 都 立	(再掲) 特別支援 学校中学部	国 立	私 立		
令和2	161	161	161	—	—	161	—	—	—	—
3	179	179	179	1	—	178	—	—	—	—
4	151	150	149	—	—	149	1	—	1	—
5	143	143	143	2	—	141	—	—	—	—
6	158	157	157	—	—	157	—	—	1	—
7	188	188	188	1	—	187	—	—	—	—

（Ⅲ統計表：第 30 表参照）

イ 中学部の状況

卒業者の進路状況は、表 26 のとおりである。

表 26 都立特別支援学校中学部（肢体不自由）：状況別卒業生数（単位：人、％）

卒業年度	卒業生	進学者	専修学校 等入学者	社会福祉 施設入所、 通所者	就職者等	在家庭者	その他	(再掲)進学者 のうち就職 している者
令和2	142 (100.0)	141 (99.3)	－	－	－	1 (0.7)	－	－
3	136 (100.0)	135 (99.3)	－	－	－	1 (0.7)	－	－
4	160 (100.0)	157 (98.1)	－	1 (0.6)	－	2 (1.3)	－	－
5	178 (100.0)	174 (97.8)	－	－	－	4 (2.2)	－	－
6	183 (100.0)	181 (98.9)	－	－	－	1 (0.5)	1 (0.5)	－
7	157 (100.0)	156 (99.4)	－	－	－	1 (0.6)	－	－

注) 「進学者」には「進学者のうち就職している者」を含む。

(Ⅲ統計表：第 31 表参照)

ウ 高等部の状況

卒業者の進路状況は、表 27 のとおりである。

卒業生 171 人のうち、社会福祉施設入所・通所者が最も多く 155 人で、卒業生に占める割合は、90.6％となっている。社会福祉施設入所・通所者のうち在学中から入所・通所している者が 9 人（社会福祉施設入所・通所者のうち 5.8％）となっている。

表 27 都立特別支援学校高等部（肢体不自由）：状況別卒業生数（単位：人、％）

卒業年度	卒業生	進学者	専修学校 等入学者	社会福祉 施設入所、 通所者	就職者等	在家庭者	その他	(再掲)進学者 のうち就職 している者
令和2	201 (100.0)	2 (1.0)	2 (1.0)	182 (90.5)	5 (2.5)	10 (5.0)	－	－
3	153 (100.0)	4 (2.6)	2 (1.3)	136 (88.9)	5 (3.3)	6 (3.9)	－	－
4	176 (100.0)	6 (3.4)	2 (1.1)	154 (87.5)	4 (2.3)	10 (5.7)	－	－
5	151 (100.0)	3 (2.0)	1 (0.7)	135 (89.4)	6 (4.0)	6 (4.0)	－	－
6	151 (100.0)	5 (3.3)	1 (0.7)	137 (90.7)	2 (1.3)	6 (4.0)	－	－
7	171 (100.0)	9 (5.3)	－	155 (90.6)	4 (2.3)	3 (1.8)	－	－

注) 「進学者」には「進学者のうち就職している者」を含む。

(Ⅲ統計表：第 37 表参照)

(4) 都立特別支援学校(知的障害)

ア 小学部の状況

卒業者の進路状況は、表 28 のとおりである。

表 28 都立特別支援学校小学部(知的障害): 状況別卒業生数 (単位: 人)

卒業年度	卒業生	都 内 中 学 校 等 進 学 者							都外中 学校等 進学者	その他
		計	公 立	(再掲) 区 市 町 村 立	(再掲) 都 立	(再掲) 特 別 支 援 学 校 中 学 部	国 立	私 立		
令和2	524	524	524	1	-	523	-	-	-	-
3	518	516	515	3	-	512	-	1	2	-
4	566	560	560	2	-	558	-	-	6	-
5	622	621	621	2	-	619	-	-	1	-
6	637	630	626	2	-	624	1	3	6	1
7	637	631	631	7	-	624	-	-	6	-

(Ⅲ統計表: 第 30 表参照)

イ 中学部の状況

卒業者の進路状況は、表 29 のとおりである。

表 29 都立特別支援学校中学部(知的障害): 状況別卒業生数 (単位: 人、%)

卒業年度	卒業生	進 学 者	専修学校 等入学者	社会福祉 施設入所、 通所者	就職者等	在家庭者	そ の 他	(再掲)進学者 のうち就職 している者
令和2	529	528	-	-	-	1	-	-
	(100.0)	(99.8)	-	-	-	(0.2)	-	-
3	600	596	-	-	1	3	-	-
	(100.0)	(99.3)	-	-	(0.2)	(0.5)	-	-
4	598	595	-	1	-	2	-	-
	(100.0)	(99.5)	-	(0.2)	-	(0.3)	-	-
5	676	674	-	-	-	1	1	-
	(100.0)	(99.7)	-	-	-	(0.1)	(0.1)	-
6	676	674	-	-	-	2	-	-
	(100.0)	(99.7)	-	-	-	(0.3)	-	-
7	696	690	-	1	-	5	-	-
	(100.0)	(99.1)	-	(0.1)	-	(0.7)	-	-

注) 「進学者」には「進学者のうち就職している者」を含む。

(Ⅲ統計表: 第 31 表参照)

ウ 高等部の状況

卒業者の進路状況は、表 30 のとおりである。

卒業者は 1,564 人のうち、社会福祉施設入所・通所者が 782 人(卒業者の 50.0%)と最も多く、次いで就職者等が 703 人(卒業者の 44.9%)となっている。

就職者等を雇用形態別に見ると「有期雇用労働者 b」が最も多く 400 人(就職者等の 56.9%)となっている。職業別に見ると「サービス職業」が最も多く 356 人(就職者等の 50.6%)となっている。

注) 「有期雇用労働者 b」とは、雇用契約期間の定めが 1 年以上かつ週の労働時間が 30 時間未満の者又は雇用契約期間の定めが 1 か月以上 1 年未満の者を指す。

表 30 都立特別支援学校高等部（知的障害）：状況別卒業生数

(単位：人、％)

卒業年度	卒業生	進学者	専修学校 等入学者	社会福祉 施設入所、 通所者	就職者等	在家庭者	その他	(再掲)進学者 のうち就職 している者
令和2	1,594	2	11	743	787	51	—	—
	(100.0)	(0.1)	(0.7)	(46.6)	(49.4)	(3.2)	—	—
3	1,451	2	6	720	678	45	—	—
	(100.0)	(0.1)	(0.4)	(49.6)	(46.7)	(3.1)	—	—
4	1,425	6	6	691	652	70	—	—
	(100.0)	(0.4)	(0.4)	(48.5)	(45.8)	(4.9)	—	—
5	1,496	1	7	720	705	62	1	—
	(100.0)	(0.1)	(0.5)	(48.1)	(47.1)	(4.1)	(0.1)	—
6	1,582	3	3	795	721	60	—	—
	(100.0)	(0.2)	(0.2)	(50.3)	(45.6)	(3.8)	—	—
7	1,564	4	6	782	703	68	1	—
	(100.0)	(0.3)	(0.4)	(50.0)	(44.9)	(4.3)	(0.1)	—

注) 「進学者」には「進学者のうち就職している者」を含む。

(Ⅲ統計表：第 37・40・41 表参照)

(5) 都立特別支援学校（病弱）

ア 小学部の状況

卒業生の進路状況は、表 31 のとおりである。

表 31 都立特別支援学校小学部（病弱）：状況別卒業生数

(単位：人)

卒業年度	卒業生	都 内 中 学 校 等 進 学 者							都 外 中 学 校 等 進 学 者	その他
		計	公 立	(再掲) 区 市 町 村 立	(再掲) 都 立	(再掲) 特別支援 学校中学部	国 立	私 立		
令和2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	2	2	2	—	—	2	—	—	—	—
5	3	3	3	—	—	3	—	—	—	—
6	1	1	1	—	—	1	—	—	—	—
7	2	2	2	—	—	2	—	—	—	—

(Ⅲ統計表：第 30 表参照)

イ 中学部の状況

卒業生の進路状況は、表 32 のとおりである。

表 32 都立特別支援学校中学部（病弱）：状況別卒業生数

(単位：人、％)

卒業年度	卒業生	進学者	専修学校 等入学者	社会福祉 施設入所、 通所者	就職者等	在家庭者	その他	(再掲)進学者 のうち就職 している者
令和2	2	2	—	—	—	—	—	—
	(100.0)	(100.0)	—	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
4	1	1	—	—	—	—	—	—
	(100.0)	(100.0)	—	—	—	—	—	—
5	3	3	—	—	—	—	—	—
	(100.0)	(100.0)	—	—	—	—	—	—
6	1	1	—	—	—	—	—	—
	(100.0)	(100.0)	—	—	—	—	—	—
7	1	1	—	—	—	—	—	—
	(100.0)	(100.0)	—	—	—	—	—	—

注) 「進学者」には「進学者のうち就職している者」を含む。

(Ⅲ統計表：第 31 表参照)

ウ 高等部の状況

卒業者の進路状況は、表 33 のとおりである。

表 33 都立特別支援学校高等部（病弱）：状況別卒業者数 (単位：人、%)

卒業年度	卒業者	進学者	専修学校 等入学者	社会福祉 施設入所、 通所者	就職者等	在家庭者	その他	(再掲)進学 者のうち就職 している者
令和2	4 (100.0)	—	—	3 (75.0)	—	1 (25.0)	—	—
3	1 (100.0)	—	—	—	—	1 (100.0)	—	—
4	6 (100.0)	2 (33.3)	—	2 (33.3)	—	2 (33.3)	—	—
5	3 (100.0)	—	—	2 (66.7)	—	1 (33.3)	—	—
6	3 (100.0)	—	—	1 (33.3)	—	2 (66.7)	—	—
7	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —

注) 「進学者」には「進学者のうち就職している者」を含む。

(Ⅲ統計表：第 37 表参照)

(6) 区立特別支援学校

ア 小学部の状況

卒業者の進路状況は、表 34 のとおりである。

表 34 区立特別支援学校小学部：状況別卒業者数 (単位：人)

卒業年度	卒業者	都 内 中 学 校 等 進 学 者							都 外 中 学 校 等 進 学 者	その他
		計	公 立	(再掲) 区 市 町 村 立	(再掲) 都 立	(再掲) 特別支援 学校中学部	国 立	私 立		
令和2	32	32	30	19	—	11	—	2	—	—
3	40	39	39	23	—	16	—	—	1	—
4	31	31	31	10	—	21	—	—	—	—
5	48	46	46	23	—	23	—	—	2	—
6	47	45	45	23	—	22	—	—	2	—
7	45	44	42	18	—	24	—	2	—	1

(Ⅲ統計表：第 30 表参照)

イ 中学部の状況

卒業者の進路状況は、表 35 のとおりである。

表 35 区立特別支援学校中学部：状況別卒業者数 (単位：人、%)

卒業年度	卒業者	進学者	専修学校 等入学者	社会福祉 施設入所、 通所者	就職者等	在家庭者	その他	(再掲)進学 者のうち就職 している者
令和2	20 (100.0)	20 (100.0)	—	—	—	—	—	—
3	24 (100.0)	23 (95.8)	—	—	—	1 (4.2)	—	—
4	17 (100.0)	17 (100.0)	—	—	—	—	—	—
5	18 (100.0)	18 (100.0)	—	—	—	—	—	—
6	20 (100.0)	20 (100.0)	—	—	—	—	—	—
7	23 (100.0)	23 (100.0)	— —	— —	— —	— —	— —	— —

注) 「進学者」には「進学者のうち就職している者」を含む。

(Ⅲ統計表：第 31 表参照)

6 中学校及び義務教育学校特別支援学級卒業者の進路状況

(1) 進路の状況

卒業者の進路状況は、表 18 のとおりである。

卒業者 1,857 人のうち、進学者（進学者のうち就職している者を含む。）が 1,799 人（96.9％）で、前年度（96.2％）より 0.7 ポイント増加した。

表 18 中学校及び義務教育学校特別支援学級：状況別卒業者数

（単位：人、％）

卒業年度	卒業者	進学者	専修学校等入学者	社会福祉施設入所、通所者	就職者等	在家庭者	その他	(再掲)進学者のうち就職している者
令和2	1,322 (100.0)	1,286 (97.3)	16 (1.2)	2 (0.2)	4 (0.3)	12 (0.9)	2 (0.2)	－
3	1,425 (100.0)	1,373 (96.4)	26 (1.8)	1 (0.1)	2 (0.1)	20 (1.4)	3 (0.2)	－
4	1,551 (100.0)	1,483 (95.6)	35 (2.3)	－	4 (0.3)	29 (1.9)	－	－
5	1,607 (100.0)	1,531 (95.3)	43 (2.7)	－	7 (0.4)	19 (1.2)	7 (0.4)	－
6	1,768 (100.0)	1,701 (96.2)	21 (1.2)	1 (0.1)	5 (0.3)	31 (1.8)	9 (0.5)	－
7	1,857 (100.0)	1,799 (96.9)	14 (0.8)	1 (0.1)	5 (0.3)	34 (1.8)	4 (0.2)	－

注1) 「進学者」には「進学者のうち就職している者」を含む。

2) 「専修学校等入学者」には「専修学校等入学者のうち就職している者」を含む。

3) 「就職者等」は「進学者のうち就職している者」及び「専修学校等入学者のうち就職している者」を含まない。

（Ⅲ統計表：第 31 表参照）

(2) 進学者の状況

進学者（進学者のうち就職している者を含む。）1,799 人のうち、特別支援学校の高等部へ 1,032 人（進学者の 57.4％）が進み、高等学校全日制課程（高等専門学校を含む。）へ 246 人（13.7％）、定時制課程へ 118 人（6.6％）、通信制課程へ 403 人（22.4％）が進んでいる。

（Ⅲ統計表：第 32 表参照）

(3) 就職者等の状況

就職者等は 5 人で、雇用形態別に見ると、「自営業主等」が 2 人、「無期雇用労働者」が 1 人、「臨時労働者」が 2 人となっている。

（Ⅲ統計表：第 34 表参照）